

令和4年度 組織重点目標一覧

係名	具体的目標	達成水準	達成状況
道路管理係	道路舗装長寿命化計画、橋梁長寿命化計画に基づき計画的な補修や点検を実施し、良好な道路環境の維持管理に努めるとともに、点検・パトロール等を実施し、破損箇所等の早期発見に繋げ、事故の防止を図る。	<p>1 町道沢乙1号線外2路線について舗装補修工事を施工し、良好な道路環境の維持を図る。 ※施工予定延長 3路線合計 L=1,140m</p> <p>2 在加瀬橋及び繰越しとなった川袋橋の補修工事を施工し、適切な維持管理を行なうことで安全性の確保並びにライフサイクルコストの縮減を図る。</p>	<p>1 町道沢乙1号線外2路線について舗装補修工事を施工し、良好な道路環境の維持を図った。 ※施工延長 3路線合計 L=1,236.4m</p> <p>2 令和3年度より繰越しとなった川袋橋の補修工事については令和4年7月に完成し、通行者の安全性確保並びにライフサイクルコストの縮減を図った。在加瀬橋の補修工事については、需要の高まりにより伸縮装置の納期遅延が生じたため、令和5年度に繰越しとなった。</p>
住宅公園係	公園・緑地等については、各施設の規模、利用状況等を考慮しながら、施設の劣化や損傷を未然に防止することを目的に、パトロールや点検等を実施し、予防保全を重視した維持管理に努める。また、住宅についても公園・緑地同様、適切な維持管理に努め、入居者の快適な居住環境を確保するとともに、住宅等使用料滞納額の縮減を図る。	<p>1 遊具点検の結果に基づき、劣化、損傷が確認された（Dランクと判定された）遊具及び砂場砂検査で基準値以上となった砂場について、事故防止の観点から、撤去、補修、砂の入れ替え等を行い、利用者の安全確保に努める。 ※令和3年度点検結果 遊具点検D判定→2基（対処済） 砂場検査（基準値以上）→14箇所（対処済）</p> <p>2 住宅等使用料滞納額の縮減 公営住宅収納率（現年分：R4.3.31現在）99%→100%（目標値） 公営住宅収納率（過年度分：R4.3.31現在）55%→80%（目標値） 定住促進住宅収納率（現年分：R4.3.31現在）97%→99%（目標値） 定住促進住宅収納率（過年度分：R4.3.31現在）6%→20%（目標値）</p>	<p>公園、児童遊園、緑地等の定期的なパトロール、点検を実施し、異常箇所については即座に簡易補修するなど、利用者の安全確保に努めた。また、今年度、遊具点検で対処が必要と指摘されたD判定の遊具は2基あったが、全て対処が済み、砂場砂検査で基準値以上となった9箇所の砂場についても砂場内の砂を全て入れ替え、予防保全型の管理に努めた。</p> <p>また、住宅使用料の収納率については、過年度分を除き、公営住宅及び定住促進住宅ともに、収納率は昨年並みとなり、概ね目標を達成することができた。過年度分の使用料については、出納整理期間内に夜間訪問徴収を予定しているため、今後、目標達成に向けて尽力していきたい。</p> <p>公営住宅収納率（現年分：98%、過年度分：29%） 定住促進住宅収納率（現年分：97%、過年度分：8%）</p>